

「日本の夏」

岩手大学

鄭婕

夏の日本といえば、「海」「浴衣」「花火」この三つは私にとって一番象徴的なものだと思う。

日本に来る前に日本のアニメとドラマを見たとき、少年少女が好きな人がいるなら絶対相手を誘って、一緒に花火大会を見に行く、綺麗な花火が背景としてロマンチックな告白をすとか、二人がキスするシーンを見た。それらは羨まれる場面だと思う。

八月十一日は盛岡最大の花火大会だった。彼氏がないけど、友たちと一緒に見るのも嬉しいことだと思う。花火大会の時専用なバスがある。バスの中で浴衣を着て花火を見に行く人がいっぱいいる。これも浴衣を体験する機会だよ。

日本に生活した人は日本には普段露天店がないということがわかる。祭りの時限定なものだ。だから、花火大会を見ることのもう一つの楽しむことは「露天店」だ。おいしい食べ物を食べて、ビールを飲んで、綺麗な花火を見て、すぐそばに大切な人がいる、これは最高な人生じゃない？

一万発の花火は一時間ぐらいで終わった。平均一秒三発。花火は瞬く間に過ぎ去るものだ。しかし、大切な人と一緒に見たから、この思い出は一生忘れられなくなった。



对我来说，最能代表日本夏天的三种事物就是“大海”“浴衣”“烟火”。

来日本之前，常常会看日本的动漫和电视剧。剧中的少年少女往往会在这个时候向自己心仪的对象发出一起去看烟火大会的邀请。然后在漫天烟火下勇敢说出自己的心意，拥抱亲吻。每次看到这样的场景都会无比羡慕。

8月11日是盛冈最大的烟火大会，虽然没有男朋友，但是和朋友们一起去也不失为乐事一件。烟火大会期间有专用的巴士，巴士上基本上都是穿着浴衣去看烟火的人。烟火大会也算是一次浴衣穿着体验了。

在日本待过的人应该都知道日本平时是没有路边小摊的，只有在各种祭典活动的时候才会出

现。所以参加烟火大会的另一件乐事就是享受平时没有的路边小摊。吃着美食，喝着啤酒，看着烟火。身边是自己珍视的人们，这难道不算是最棒的人生？

一万发的烟火一个半小时左右就结束了。平均一秒钟三发。烟火转瞬即逝，但因为是和重要的人一起，便成了一生都无法忘记的回忆。

